

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2023

1

第37巻1号
(通巻425号)



峡西病院の理念

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

法人委員会紹介

感染予防研究会

感染予防研究会では、各種感染症に対する調査、研究、教育、方策を検討し感染防止策に万全を期することを目的として活動しています。

感染予防研究会は、毎月1回開催し、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士で構成されています。

主な活動内容は

①院内感染対策マニュアルの作成・見直し

②院内感染対策に関する資料の収集と職員への周知

③院内感染対策防止案の検討及び提言

④各部門における感染対策の徹底状況の点検

⑤感染症が発生した場合の速やかな原因究明と感染防止対策の検討

⑥感染サーベランスの作成と集計

⑦患者及び家族への対応

⑧感染予防に関する教育・研修会の開催などがあります。

感染予防研究会では各種

感染症の予防接種についても調整を行っています。インフルエンザワクチンの予防接種に加え、今は新型コロナウイルスの予防接種が年間を通して行われており、日々スケジュールの調整や準備を行っています。また新型コロナウイルスに関しては、南アルプス市で実施されている集団接種にも当院から医師・看護師を派遣し支援も行っています。

今季はインフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が懸念されています。患者様、職員の皆様には引き続き、体調管理に気を付けていただき、手洗い・うがい・マスクの着用など感染予防の徹底とご協力をお願いしたいと思います。



法人委員会紹介

NST委員会

陕西病院NST委員会は、各病棟・部署合わせて現在11名のメンバー構成となっており、アドバイザーとして内藤歯科の協力を得ています。

NSTとは(Nutrition Support Team)の略で【栄養サポートチーム】のことです。(以下…NST) NSTは、1968年の中心静脈栄養(TPN)の開発、普及と共に誕生し、欧米を中心に全世界に広がりました。日本では、2001年日本静脈経腸栄養学会による指導で全国に広がっていきましました。

【本院の発足の経緯】

当院のNST委員会は、平成27年に準備委員会として立ち上がり、平成28年度には委員会として発足しました。

平成27年当時は、褥瘡・事故委員会の嚆下対策チームが別々の委員会でも活動していましたが、統合的かつ専門的に多職種で取り組む必要性を感じていました。県内では、北杜市にある甲陽病院(総合病院)のNST委員会の活動が活発に行われていると聞き、見学させて頂く事になりました。見学当日、まず驚いた事、職員が昼食をとりながら患者様の栄養に関する問題をディスカッションしていたことです。多職種一人一人が対象の患者

様の栄養に関わる問題を上げあらゆる方向性から議論を交わし、検討していただきました。ミーティングが終わるとNST委員会のメンバーが患者様の病室に出向き回診が始まります。患者様の状態を確認し、カンファレンスの方向性に沿って今の患者様の治療方法を選択していきます。このように多職種が一人の患者様のために治療を選択していく活動を見て感化され、NST委員会を立ち上げました。

【活動内容と目的】

当院は、認知症病棟と老人保健施設を併設しています。長期入院患者の中には、高齢化が進み、摂食嚥下・褥瘡・排泄等の問題が常に存在しています。ターミナルケアという観点からも栄養管理が重要な課題になっています。精神科の患者様においても病状の悪化により、栄養状態が悪化する場合があります。向精神薬の中には、肥満や嚥下障害を招く薬剤も多いです。そのためNST委員会の活動は、当院独自の栄養管理体制を構築し、精神科としての治療効果の向上を目的としています。

現在委員会のメンバーは医師・看護師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・薬剤師・栄養士が患者様・利用者様の笑顔のために活動しています。

令和3年度 目標管理発表会



目標

「外来看護師全体の質の向上を目指す」

目的

- ・外来看護師の業務評価と求められる看護師像を外来看護師自身が知る
- ・外来看護師が日常業務を振り返り『独立した専門性』を発揮できる業務改善に挑戦すること
- ・今後、外来を一つの単位として位置付けるため『看護外来』という枠組みを設けたい

方法

- ・外来看護師へ外来事業計画を周知する。
- ・医師全員に意識調査を実施する。
- ・意識調査を集計し、外来看護師へフィードバックする。

・診察前後の患者家族との関わりを意識的に行う。

結果

Q1、外来看護師の存在に助けられていると感じる内容

- ① 事務手続き
- ② 患者の電話対応、迅速な処置、待ち時間のフォロー、常勤医と非常勤医のパイプ役や調整
- ③ 患者や家族のケアやアセスメント、看護師として意見をくれる、限られた診療時間で見落としがちな情報を的確にフォローアップしてくれるため、治療計画を立てやすく、医師の負担が減っている
- ④ 院内・地域生活者との連携を円滑に行う中心的役割

Q2、診療前後、患者の情報を外来看護師へ連絡する必要があるか

- ・必要性を感じている医師は全員であった。そのうち、8割の医師は積極的に情報交換出来ていると実感している

医師に言えない本音を外来看護師がキャッチしてくれるため正確な診療が出来ていると認識している。

Q3、医療チームの中で外来看護師は特になような面での活躍が求められているか

- ① 診療以外での患者の情報収集、ストレスなく処置をうけられるよう支援する役、膠着状態になった時の医師と患者の援護役
- ② 患者の状態からリスクのある患者のセーフティネットとしての機能
- ③ 短い診療時間で患者にとつて有益な情報を見抜き、伝えられる役割
- ④ 在宅医療の中核を担う「暮らしをアセスメントする力」、患者の強みを引き出す力を見抜ける役割

課題

- ① 外来看護師の3人体制は、診察同席や治療カンファレンスの参加など患者に向き合う時間を設けることに困難を感じた。
- ② 患者や家族の気持ちにゆとりある対応が出来ず、患者家族に不利益

が生じた。

③ 診察同席や患者に対応したい気持ちがあっても、そのために看護師が現状の業務から抜けることで外来看護師に気を遣った。

まとめ

- ・治療の舵を執る医師が外来看護師の在り方を考える機会になった。
- ・治療と在宅の橋渡しを担う医療の窓口である外来看護師は、多角的に患者や家族を看ることのできるスペシャリストの集合体でありたいと強く感じた。

今後への期待

☆人員増

患者と向き合える時間が増える
疾患を学ぶ機会が増える

☆能力UP

誰もが同じ看護を提供できる
患者の受け皿が増える

☆選ばれる病院

外来患者が増える
収益に繋がる

外来を一つの単位とした

看護外来という

枠組みを設けたい

病院クリスマス会

12月6日病院クリスマス会が開催されました。感染対策のため、今年もOTホールを満席にして皆で一緒にという形ではなく、午前・午後の2部制を取り、各病棟へオンライン中継もしました。午前は音楽家の根岸さん、徳丸さんとピアニストの末石さんのクリスマスコンサート、午後は早乙女右京さんの大正琴コンサートが行われました。歌や演奏に合わせて「手作りの応援メッセージを書いたお皿」や「光る棒」「すず」をふって一緒に楽しみました。プリエ病棟名物看護師の河野サンタさんとリハセンターのOT岩田さんがトナカイとして登場し会を盛り上げてくれました。



OT・PT だより



11月22日にリスタート病棟のバスレクを行いました。今回は飯丘観光さんより車椅子6台が乗れる大型バスを借りて患者様19名、スタッフ6名とドライブに行きました。バスに乗ると旅行に行った事などを思い出し、昔を懐かしむ話が聞かれました。「かじかの湯」方面に行き、車内から周りの景色や紅葉・滝を見たり途中車内でおやつを食べました。皆さんより「きれいだね」「わあすごい」「良かった」などの感想が聞かれました。まだ新型コロナウイルスの状況が落ち着かず、外へ出る機会は少ないですが、患者様に参加している表情を見て、外出できる機会が増えるといいなと思いました。



精神科

デイケアだより



Q 峡西病院デイケアの特長は何ですか？

A ここでは3つ挙げます。まずは「生活のしづらさ」に苦勞し、悩みながら、地域での暮らしを続けている仲間に出会うことができます。利用されている方から、自分と同じ悩みを持つ方々との交流は何よりの支えになっているという言葉をよく聞きます。次に、目標や目的に沿ったグループ活動（プログラム）が用意されています。もちろん活動スケジュールのご相談にも応じます。さらには、多職種による治療・支援を利用できます。デイケア専従スタッフである看護師、精神保健福祉士、作業療法士、公認心理師はもちろんのこと、地域の方々からのご協力も得て、利用者の夢や希望の実現に向けた応援を行っております。

プログラム紹介

生活充実型プログラム 「育てるプログラム」

〔活動曜日〕 金曜午前

〔活動場所〕

フレンジ畑・キッチンスタジオ

〔活動内容〕

季節ごとに、土を耕し、種、苗から野菜を育てています。厳しい暑さや寒さの中で行う外作業はとても大変ですが、この苦勞を吹き飛ばす達成感を得られるのは、自分達で育てた野菜を調理し、食す時です。採れたての野菜は甘く、瑞々しく格別の味わいです。

園芸作業は、体力づくりや調理の練習になります。何といても、土の香りと季節の風を感じながら、丁寧に育てた作物と共に過ごすゆったりとした時間は、最高のリラックスになります。一緒に美味しい野菜を育てる仲間を募集中です。今は、キャベツや大根、ほうれん草などを育てています。



興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

*ホームページをぜひ、ご覧ください。

峡西病院 リハビリのご案内 検索

ろうけんTimes

R4年*総集編

春

各階で春祭りを行いました。



夏



夏祭りにゲーム大会、スイカ割を行いました。

秋



さんまを炭火で焼いて食べました。

冬



映画鑑賞会や木工活動、室内での園芸活動を行いました。

* 峡西老健のホームページもご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、C病棟の高野恵理那さんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：ムゲンのi

(作者：知念実希人／出版社：双葉社／出版年月日：2022年2月9日)

●読んだきっかけは？

約一年前に久しぶりに小説を読みたいなと思った。なんとなくイオンの本屋に行き、おすすめのコーナーを見ていた時に表紙がとても綺麗で、かつ医療ミステリーとあったため購入した。

●おすすめのポイントは？

ある日突然眠りから覚めなくなる難病、特発性嗜眠症候群、通称イレス。世界での発症報告例は僅か400と少なく、治療法も確立していない謎の多い病気である。主人公、識名愛衣は神経内科医でありイレスを発症した患者3人を担当していた。識名は日々治療方針に頭を悩ませていた。ある日、イレスを発症する原因に共通点を見つけた。沖縄でユタをしていた祖母と同じ特殊な能力を持っていた彼女は、患者の夢幻の世界で「マブイグミ」に挑戦し患者を目覚めさせようとする。登場人物達の夢が織りなす幻想的な世界での冒険と現実にかかる殺人事件、主人公が遭遇した23年前の事件に絡むミステリー、そして素敵な家族愛が描かれている作品である。

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

■ 臨床倫理

1. 精神障害者を扱う医療機関として、患者様の人格尊重や意思の尊重、自己決定権の尊重を最大限配慮した医療を展開いたします。
2. 患者様の機能的状態や病状に対する説明、診療内容、必要な事項の説明を、わかりやすく丁寧に行います。
3. 当院での医療が納得して受けいられるように、患者様が他医療機関でセカンド・オピニオンを求める機会を支援いたします。
4. 当院での医療にとどまらず、かかりつけ医療機関・福祉介護施設・障害者社会復帰施設などとの連携を深めて、患者様の生活の場を重視した医療とケアを目指します。

日常の倫理的問題に適切・迅速に対処するため、職業倫理・臨床倫理に関する検討を定期的に行います。

私は、**「確かにそうだ」と感じさせるような、優れた言葉を探すことが好きである。つまり、名言を探すことである。悩み、苦しい時に助けられた言葉は数多い。おそろく、人生の羅針盤になるような言葉を求めているのだろう。**

【人生の意義は、「何をなすか」ではなく、「何をなそうと胸を焦がすか」である】

これは、ハリール・ジブラーン（詩人）の言葉である。私は、この言葉が大好きだ。法人の理念には、「私らしさ」という言葉が登場する。「私らしさ」の定義は人それぞれである。私としては、人生や生きるということにおいて「何を成し遂げたか」という結果



皆さん令和4年はどのような年でしたか？ 早いもので、今回2回目の万華鏡依頼です。何を書くとか中々考えが浮かばず、ふとテレビに目を向けると日本対ドイツのサッカーの試合が行われていました。ワールドカップです。日本の前評判は良く引き分けの評価でしたが、前半に得点を入れられ、このまま終わってしまうのかと思っていたら選手交代のちゴールを決め同点に、さらに点を入れて逆転し勝利をあげました。さらに無敵のスペインにも後



だけではなく、それ以上に、「何にワクワクするのか」「何に胸が躍るのか」が重要だと考えている。それが、健康の秘訣とも思えたりする。

利用者さんとの関わりで、心と体の健康を維持したり、調子を取り戻す方法のことを「元気に役立つ道具箱」という言葉で表現することがある。元気に役立つ道具箱には、ワクワクするような、胸が躍るような方法が含まれることをお勧めしている。ハリール・ジブラーンの言葉は、私の支援の羅針盤として今も役立つている。

リハビリテーションセンターグループ
中村

半に逆転し、ドイツ戦と同様に勝利を得ました。日本は決勝トーナメントへと進みますが世界の強豪国を相手に勝利を勝ち取って貰いたいと思います。皆さんもご存じのように山梨県のサッカーチームのバンフォーレ甲府も天皇杯でJ1チームを破り、初優勝を飾りました。同じようにワールドカップでも日本が初優勝を目指し頑張つて頂きたいと思えます。皆さんの手元にこのおあしすが届く頃には結果が出ていることでしょう。

スポーツの試合に勝つという喜ばしいことばかりではなく、悲しいことや嘆かわしいことが今年も多々ありました。ちょっとした不注意や思い込みなどで事故が起きてしまします。日々の生活の中でも、不注意や気のゆるみ、また思い込みで取り返

しのつかないことが起こらぬように注意していきたいと思っています。

この年末にきてコロナウイルスによる第8波の感染の兆しが見られます。山梨県の感染者はトータルで12万人を超え約7人に1人の割合で感染しています。また、インフルエンザとダブルで流行することが懸念されています。感染者数が増加し、いつ入院患者が増え続け病床が逼迫するか予断を許さない状況です。はやくコロナが終息することを願っています。しかしながら、新たな変異株（ケルベロス、グリフォン）の発生が今後どうなる事でしょうか？ コロナとの共存を如何にしていくか日々考えていく必要があるのではな

いかと思っています。

アルプス訪問看護 芦沢

こちら編集室

子供の頃名古屋にすむ祖母の家に遊びに行くと、毎回喫茶店に連れて行ってくれた。名古屋には喫茶店が多く、コーヒーの値段でトーストや、サラダが付くモーニングは楽しみの一つだが、その頃の楽しみはメロンクリームソーダとナポリタンだった。きれいな緑色のメロンソーダにバナナアイス、その上に缶詰のさくらんぼ。さらさらして綺麗だった。そして鉄板の上に乗ったナポリタン、周りには甘い卵がナポリタンの酸味とよく合っていた。家庭では出てこないメニューで、何よりも大好物であった。その頃両親は忙しく、喫茶店に連れて行ってくれることはなかった。だから名古屋に行きたくて、10歳ごろには一人で電車とバスを乗り継いで祖母の家に行けるようになっていた。段々大きくなると、色々なメニューを食べるようになり、ナポリタンに対するこだわりは無くなったが、ふと懐かしく食べたくなる。自分で作ってもあの味にはならない。注文してみても鉄板で出てくることもなく、味はもつと上品だった。あ、あの味ではない。それが最近出会ってしまった。まさしくあの味のナポリタンだ。鉄板ではなく卵もなかったけれど、2日後にも食べて、間違いないと確信した。急に小さい頃がよみがえってきて感動してしまった。これは自分へのご褒美の時に食べたいと思う。

(ふ)

今月の予定 1月

4日
仕事始め

14日
外来ケアプロセス会議

24日
高齢者プロジェクト

今月の一枚



キジトラのぺちちゃん
6歳です。

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

旅に出て小春日和や脱ぐ上着 石坂 克巳

なにごととも理性ありてや和やかに 今福 和人

新年の年賀状見て長男から 大森真知子

小春日や乗馬体験飛行機雲 要

小春日や丘に登りて深呼吸 塚原 光明

小春日や外に出られず痛む膝 保坂五十鈴

お正月初参りには神社にて 渡辺 あき

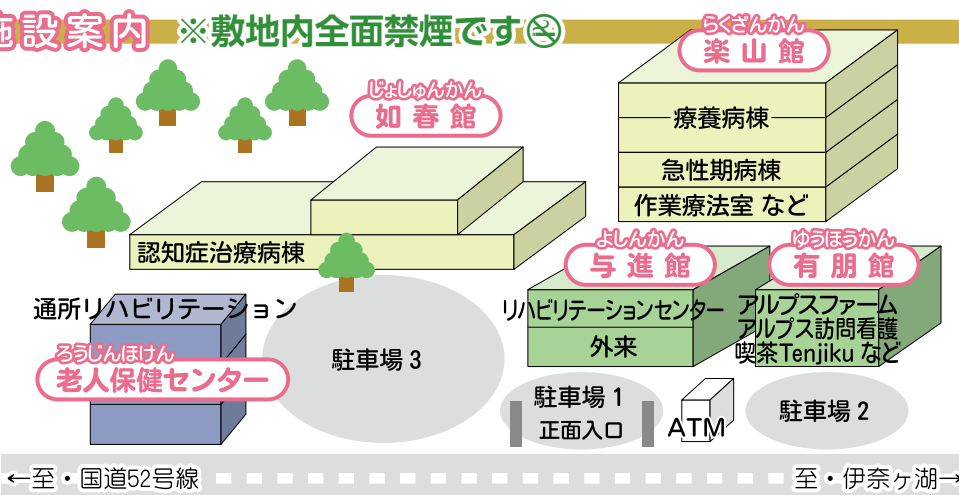
勢いで無理なことはしないようにね 渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。

※11月号にて、

「彼岸花秋めいた日の人知れず紅葉となり又この後は」という句を掲載しましたが、作者に誤りがございました。正しくは、「詠み人知らず」になります。お詫びして訂正いたします。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です



交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第425号 1987/9/5創刊

発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 南山会

* 広報委員会 *

中山貴、望月裕太、堀内園香、柴沙也佳、澤登祐弥、原京子、埜村麻美、柳沢真尋、保坂聡子、伊藤貴文

次回426号も
お楽しみに!